

大牟田リサイクル発電所

は、大牟田エコタウンの一面に位置し、ごみ焼却によるダイオキシン類対策と余熱発電（サーマルリサイクル）を目的として、RDF（Refuse Derived Fuel:ごみ固形化燃料）の焼却施設と発電施設を設けています。

RDFによる発電は、小規模市町村等において製造されたRDFを広域的に収集することにより、単独の市町村では対応が難しかった高温で安定的な連続燃焼が行えます。さらに、最新の環境対策設備を整え、ダイオキシン類等に対して万全の対策を図っています。

また、RDFは通常のごみと比較して発熱量が高く、ハンドリングが容易であることから、内部循環流動床式ボイラにて高温・高圧の蒸気を発生させることで熱効率の向上を図り、高効率の発電を行っています。

このように、未回収であった廃棄物の熱エネルギーを効果的に活用することにより、地球温暖化のひとつとされている二酸化炭素対策にも寄与しています。

大牟田リサイクル発電株式会社では、今後とも環境に十分配慮して運転管理を行うとともに、円滑な事業運営に取り組んでまいります。

建設概要

- 施設名称 大牟田リサイクル発電所
- 所在地 福岡県大牟田市健老町（大牟田エコタウン内）
- 敷地面積 24,700m²
- 建築面積 約1,100m²
- 延床面積 約1,500m²
- 総事業費 105億円
- 現地着工 平成13年4月
- 稼働開始 平成14年12月

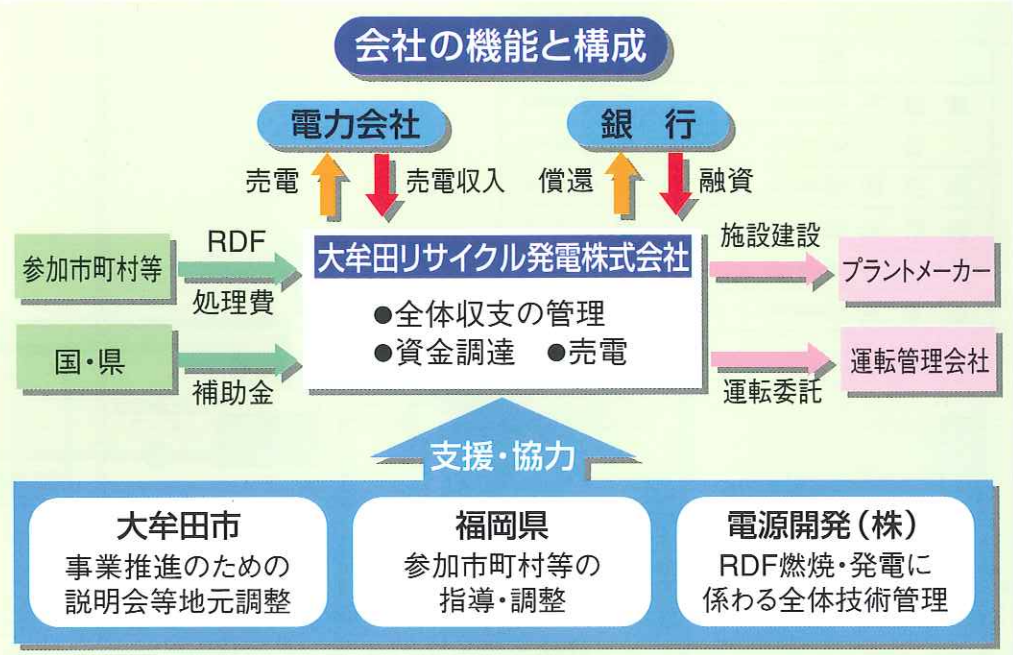
施設概要

- 処理能力 315トン/日
- 発電能力 20,600kW
- RDF受入・払出設備 RDF貯蔵設備受入・払出コンベヤ方式
- 燃焼設備 循環流動床方式
- 蒸気発生設備 全ボイラ方式
- 排ガス処理設備 バグフィルタ方式
および活性炭吸着方式
- 電気発生設備 蒸気タービン・同期発電機方式
- 通風設備 平衡通風方式
- 灰処理設備 キレート処理および加熱脱塩素化方式
- 給水設備 工業用水および上水
- 排水処理設備 凝集・ろ過処理方式
- 計装制御装置 分散型電子計算機システム

大牟田リサイクル発電株式会社の概要

広域的なダイオキシン類対策への取り組みとして、RDF発電事業を実現させるために、福岡県、大牟田市、電源開発(株)などの出資によって「大牟田リサイクル発電株式会社」が設立されました。

大牟田リサイクル発電所は、ダイオキシン類対策特別措置法(平成12年1月施行)による「新設炉のダイオキシン類排出基準」に適合した施設です。



●大牟田RDF発電事業への参加市町村とRDF搬入量

本事業に参加しているのは19市町村で、7つの団体(一部事務組合)がRDFを製造しています。このRDFが、大牟田リサイクル発電所に運ばれています。

